

実施隊、わな部隊、集落、町による地域ぐるみの被害対策（茨城県大子町）

- 捕獲の担い手の高齢化とイノシシ生息数の急激な増加で捕獲活動の負担軽減が急務となり、狩猟者確保と地域ぐるみの対策を推進
- 集落において、専門家による集落環境診断を実施し、被害状況、対策及び課題を情報共有
- 町単予算でわな猟免許取得費用助成し、後継者を確保
- 実施隊・わな部隊を対象とした講習会による捕獲技術のスキルアップ

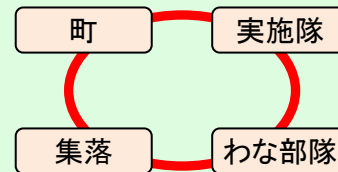
取組内容

- 町、実施隊、わな部隊、集落で情報共有し地域ぐるみで被害防止対策推進
集落の耕作放棄地に実施隊員考案の簡易な囲いわなを設置

- 集落環境診断



- 耕作放棄地に囲いわなを設置



- わな部隊員の捕獲技術向上と安全対策の講習会を実施
囲いわなの見回り、維持管理を集落で行い、農作物残渣を餌に利用

- 捕獲技術講習会



- 侵入防止柵設置研修



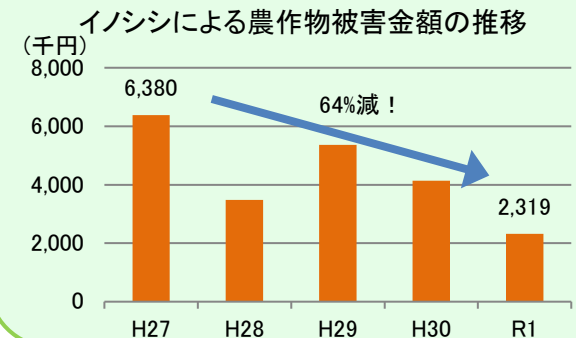
- 囲いわなで捕獲されたイノシシ



- わな猟狩猟免許の取得費用の助成を継続して実施
実施隊員の後継者確保へ

成果

- 地域ぐるみの取組により、鳥獣被害防止対策への意識が向上
- 実施隊員の捕獲活動負担軽減
- 耕作放棄地と農作物残渣の有効利用
- わな猟免許の新規取得者を一定数確保



今後

- 集落環境診断と捕獲技術講習会を継続して実施し、町内各地にモデル地区を設置

実施隊、わな部隊、集落、町による地域ぐるみの被害対策(茨城県大子町)

